

芽室町議会 I C T推進基本計画のリニューアルについて (議会中継配信プラットフォームの移行)

1 趣旨

現在運用中の議会中継用サーバーについては、保守期間が令和 8 年 4 月末をもって終了している。

このため、機器更新又はシステム移行について検討した結果、コスト、利便性及び安定性の観点から、議会中継の配信方法を YouTube Live を利用した形式へ移行するものとする。

2 変更の背景

(1) サーバー保守の終了

議会中継システムで使用している独自サーバーについては、令和 8 年 4 月末をもって保守サポートが終了した。

(2) 保守終了後のリスク

保守終了後は、機器故障や障害発生時に迅速な対応が困難となるおそれがある。

また、継続的な保守が受けられないことにより、中継の中断やセキュリティ上のリスクが高まる可能性がある。

(3) 代替手段の必要性

独自サーバーを全面的に更新する場合、多額の費用を要することが見込まれる。

このため、安定的かつ持続可能な議会中継を継続するため、代替手段への速やかな移行が必要である。

3 YouTube Live 導入の利点

(1) コストの最適化

独自サーバーの維持管理費用や保守費用を削減でき、配信に係る経費の抑制が期待できる。

(2) 視聴環境の改善

特定のプレイヤーや専用ソフトを必要とせず、スマートフォン、タブレット、パソコン等から視聴できるため、住民の利便性及びアクセス性の向上が見込まれる。

(3) 安定した配信基盤の活用

YouTube の配信基盤を活用することで、アクセスが集中した場合においても、比較的安定した映像配信が期待できる。

(4) アーカイブ機能の強化

ライブ配信終了後、動画をアーカイブとして保存・公開することが可能となる。

また、不要部分のカットやチャプター機能を活用することで、議案や発言者ごとの検索性が高まり、録画配信の視聴利便性の向上が期待できる。

4 懸念事項と対応方針

(1) 広告表示への対応

意図しない広告表示をできる限り抑制するため、YouTube の設定内容を確認し、配信環境の最適化を図る。

(2) コメント機能への対応

議会中継における公平性及び中立性を確保するため、コメント欄は使用せず、視聴専用の配信として運用する。

(3) 著作権等への対応

配信映像内に表示又は使用する資料、画像、音声等について、著作権上の問題が生じないように、事前確認を徹底する。

(4) 運用管理体制の整備

配信開始前の確認手順、トラブル発生時の対応方法、アーカイブ公開までの作業手順等を整理し、安定した運用体制を構築する。

5 今後のスケジュール

(1) 令和8年8月

配信設備の設定、配信テスト及び試験運用を実施する。

(2) 令和8年9月

9月定例会議から本運用を開始する。